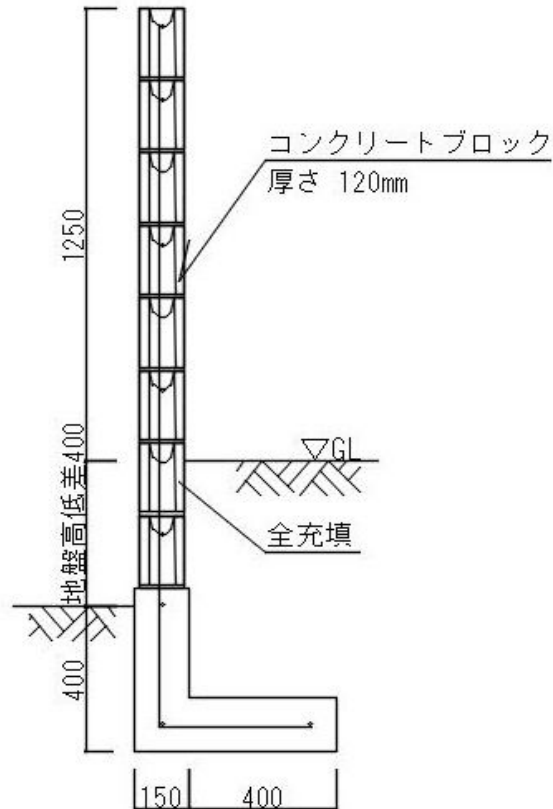
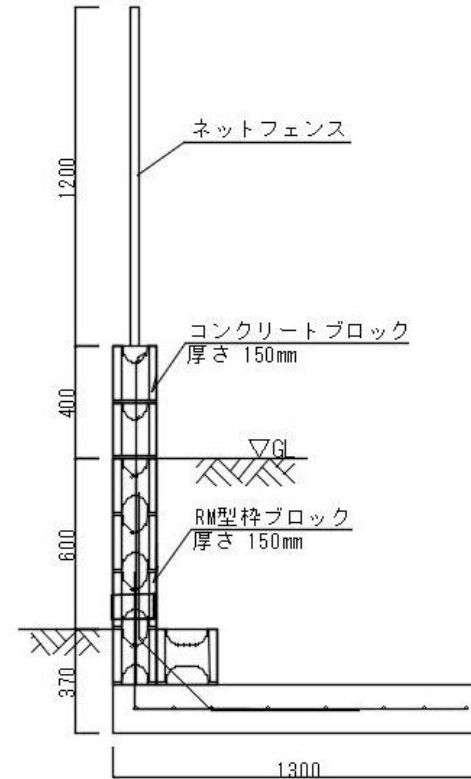
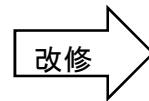


地盤高低差(土被り)のある既存コンクリートブロック塀をフェンスにする場合の改修方法 1/2

既存コンクリートブロック塀の例
(一般社団法人 日本建築学会規準による)



天端にブロックを2段積みしフェンス(H=1200)を建てる
HRM擁壁 I 型(国土交通大臣認定擁壁)



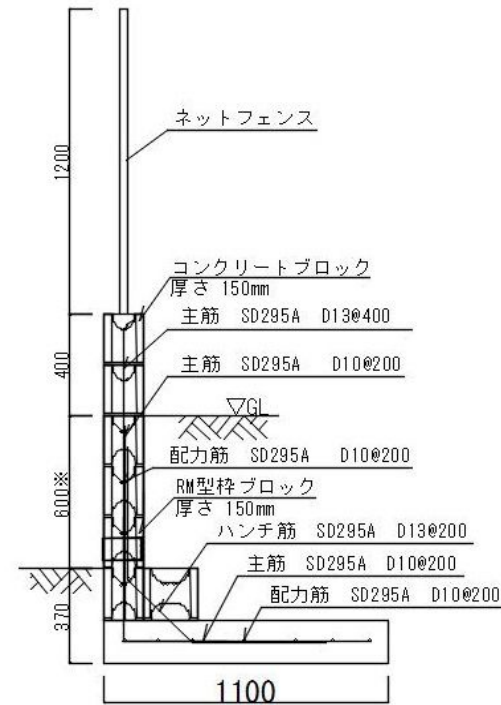
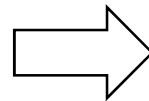
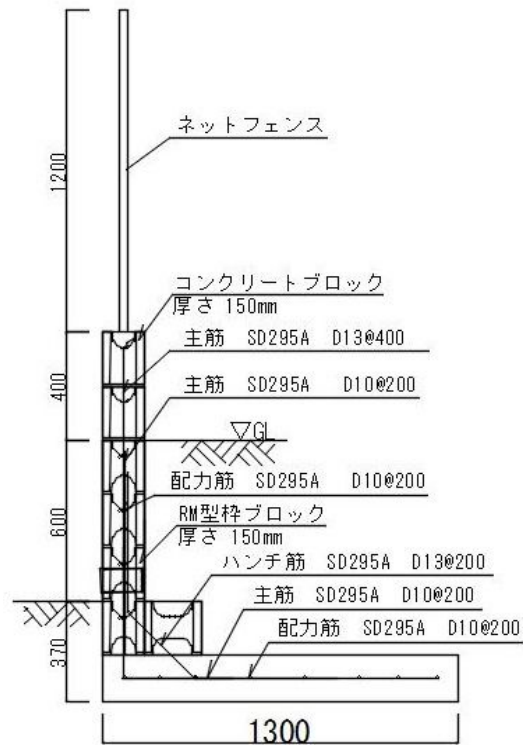
※HRM擁壁 I 型は大地震対応型擁壁です。

※擁壁天端のフェンス付きブロック塀の設置は大臣認定要件に含まれています。

地盤高低差(土被り)のある既存コンクリートブロック塀をフェンスにする場合の改修方法 2/2

上載荷重を $10\text{KN}/\text{m}^2$ と仮定すると底版長さが長くなります。

上載荷重を植栽程度の $2\text{KN}/\text{m}^2$ とすると底版長さが 200mm 短くなります。



上載荷重以外の設計と条件はHRM擁壁 I 型(大臣認定擁壁)と同様の計算をしています。

※ 地盤高低差に合わせて計算が出来ます。

内容については下記までお問合せください。
太陽エコブロック株式会社 営業技術室 服部
電話 06-6466-6751 FAX 06-6466-6760
<https://www.taiyo-ecoblox.com/inquiry/>